

学校司書さんの活躍

今年度羅臼町に学校司書さん黒田さんが配置されました。学校司書は、羅臼町の両小学校未来中学校の3校で勤務していただくこととなります。春松小学校が本来の勤務校として週3日、羅臼小学校（金曜日）、知床未来中学校（木曜日）に1日ずつ勤務することになっています。それぞれの学校では、図書の整理や貸し出しなどをしています。また、図書室の使い方や授業に必要な本の準備などもしています。

中学校では、それぞれの中学校から持ってきた本を分類し、図書台帳に記録されていない本は、記録する作業も今後する予定だそうです。また、3校とも公民館図書室と同じように、バーコードでの分類と記録をするとのことでした。大変な作業ですが、これも司書さんが配置されたのでできる仕事です。今年度末には、それぞれの図書室が見違えるようになっているのではないかと思います。

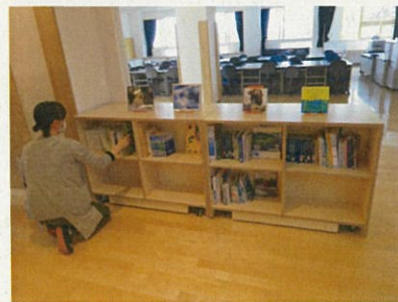
司書さんの仕事はすごいですね。



(春小3年生の授業)



(春小の運動会関連のテーマ展示)



(未来中のテーマ展示郷土関連本をデザイン)



(本を調べやすいように並べ替え・羅臼小)



(新しい本の紹介・羅臼小)

羅臼町幼小中高教育 診断編

幼稚園・小学校・中学校・高校の平成30年度の取り組み

平成30年度 羅臼幼稚園の教育 【企画編】

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、学校教育につながるものとしての期待が高まっているとともに、これからの社会を担っていくことのできる「生きる力」をもった人としての基礎を育むことが求められています。幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、幼児が興味・関心に基づく遊びの中で、直接的・間接的な体験を重ね、遊びこみ、探求していく課程でいろいろなことを感じ取ったり、考えたりして主体的に学んでいくことができるような姿を目指していきます。

円滑な幼小接続の推進

- 5歳児修了時の幼児の姿について共有できるようにし、互いの教育内容や指導方法の違いや共通点について理解を深め、幼児期の教育と小学校教育とのより一層の円滑な接続を目指す。
- 0年長午後保育の充実～小学校へつながるように、みんなと一緒に教師の話の聞いたり、行動したり、自分の思っていることを伝えたり、きまりを守ったりしながら楽しく活動する。



海洋教育パイオニアスクールの取り組み

- OESD教育の一環として、海で遊んだり、海の生き物を見たり触れたり、食べる等の五感を使った体験や活動の中で海に親しみを感じる。又、知床学にも繋がるよう、羅臼の豊かな海の大きさや不思議さを感じたり、考えたりしながら自分達が暮らす町が「海の町羅臼」ということを意識できるようにしていく。



食育活動

- 食べることが喜びにつながる食指導～季節の食材を知り、食べ物と自然を大切にすることを育む。
(フキの油炒め、ヨモギのホットケーキ、イカ飯、イモ団子など)
- PTA食育～各学年の役員さん中心に地域でとれた農産物魚介類などを使った献立を考えてもらう。(シーフードカレー、羅臼昆布を使った料理、牛乳を使った料理など)



感じる・気付く・わかる・できるようになるための豊かな体験

- 幼児が感じたり気付いたり分かったりできるようになっていく経験を重ねることができるよう、豊かな体験を促す環境構成や援助を探る。
 - ・「楽しい」「おもしろい」「やってみよう」と思ったり感じたりできる環境の工夫。
 - ・間違っても失敗しても考え直す、経験したことを活かして工夫する、友達と協調し諦めずに最後までやりぬこうとする援助を探る。



幼稚園教育において育みたい資質・能力及び『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』について、具体的な幼児の姿を通して理解を深め、指導の改善を図り、実践していく。

1. 健康な心と体
2. 自立心
3. 協同性
4. 道徳性・規範意識の芽生え
5. 社会生活との関わり
6. 思考力の芽生え
7. 自然との関わり・生命尊重
8. 数量・図形、文字等への関心・感覚
9. 言葉による伝え合い
10. 豊かな感性と表現

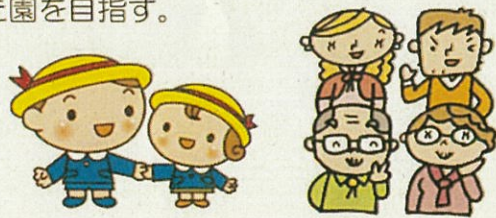
思いを伝えあえる 子どもの育成

- ・ 幼児の興味・関心から、活動や学びの広がり予測し、幼児同士の対話を生み出しやすい環境の工夫をする。
- ・ 幼児同士が安心して対話をし、自分の考えを作ったり、より良い考えが実現できる援助を進める。



保護者と連携した 子育て支援の充実

- ・ 家庭との信頼関係を築き、連絡帳、おたより、ブログ、ドキュメンテーション等、様々な形の情報発信に取り組む。
- ・ 「家庭教育学級」の取組等で、保護者同士の関係づくりや幼児の意欲を尊重した子育てをするきっかけ作りをしていく。
- ・ 保護者の立場での視点で考え、開かれた園を目指す。



ESDに繋がる 羅臼ならではの教育の実施

- ・ 海洋教育パイオニアスクールプログラムを通じてふるさと羅臼を体験する。

(羅臼昆布を通して)



- ・ 地域の物を知り、地域を大切に思える環境教育の実践を図る。
- ・ 地域の人々との繋がりや出会いを大切にした保育活動の工夫を図る。



本校の学校教育目標

- 思いやる子 (あたたかさ 情)
- 考える子 (かしこさ 知)
- がんばる子 (ねばり強さ 意・体)

校訓

- 明るく強い子ども
- 創造性豊かな子ども
- 勤労を尊ぶ子ども

学校経営の重点

子どもの成長が「実感」できる教育を目指す

羅臼小学校 学びの視点

学力の向上

- 1 基礎学力の定着
 - ・ 放課後学習(学びタイム)の実施
 - ・ 算数におけるITの授業や習熟度別の授業の実施
 - ・ 毎朝のドリル学習
 - ・ サマーテスト・ウィンターテスト
 - ・ 生涯学習につながる家庭学習の取組
- 2 読書活動の充実
 - ・ 朝の読書
 - ・ 「こぐまちゃん」サークルによる読み聞かせ
- 3 各種検査・調査の分析と改善プランの立案・実施

基本的な生活習慣の定着

- 1 いい顔 いい声 いい動き
 - ・ 児童：いい顔いい声いい動き発見カード
 - ・ 思いやりの標語運動
- 2 異年齢集団
 - ・ たてわり活動(清掃、運動会など)
 - ・ 委員会・クラブ活動
- 3 生活アンケート
 - ・ 集計・分析し、保護者への公表と改善
 - ・ 個人面談週間の実施

健康・安全教育の充実

- 1 食育
 - ・ 給食指導、フッ化物洗口、歯科指導、肥満指導
 - ・ 栄養教諭による食育指導
- 2 生と性の学習
- 3 体力の向上
 - ・ スポラタイム、体づくり運動の充実
- 4 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進
- 5 生活リズムチェックシートの活用
- 5 避難訓練の実施
 - ・ 火災・地震・津波対応の訓練
- 6 安全意識の醸成
 - ・ 安全指導、子ども110番の家訪問
 - ・ 安心・安全メールの活用

外国語科(活動)・総合的な学習の時間の充実

- 1 外国語科(活動)
 - ・ ALTの活用
 - ・ 教材の工夫と評価等の実践研究
 - ・ 全学年での実施
- 2 ふるさと学習
 - ・ 地域素材・人材・施設の活用
 - ・ 「学びの連続」
羅臼幼稚園・未来中学校との連携
 - ・ 副読本「知床学」の活用
 - ・ 北方領土学習の充実
- 3 情報教育
 - ・ ICTの活用
 - ・ 情報モラル・マナーの指導体制整備
- 4 ユネスコスクール活動

平成30年度 春松小学校の教育【企画編】

学校の教育目標

郷土の発展に役立つ実践力のある社会人となるために、勤労を尊び、仲良く助け合い、豊かな情操と高い知性を持ち、何事もやり抜く心身ともに健康な子供を育てる。

目指す子ども像

- ・元気な子（たくましい子） ⇒ 心身の健康・勤労・克己心
- ・考える子（考えを深める子） ⇒ 基礎力・思考力・実践力
- ・やさしい子（思いやりのある子） ⇒ 生命尊重の精神・共生力・郷土愛

今年度の重点目標

- ・心身の健やかな成長を促す健康・安全教育の推進
- ・学習意欲の向上と確かな学力を定着させる教育の推進
- ・人権尊重の精神を基盤とした共生の心を醸成する教育の推進

元気な子	考える子	やさしい子
【重点】 ◎自らつくる力の育成 ○安全・安心・清潔な学校生活の確立 ①児童の危険回避能力を高める安全教育の充実 ②清掃指導の充実と環境美化意識の向上 ③学級係・児童委員会活動の活性化 ○体力・運動能力の向上 ①運動に親しみ、基礎的・基本的技能の定着を図る体育授業の充実 ②めあてをもち、継続的に体力づくりに取り組む態度の育成 （縄跳び・外遊び・徒歩通学の奨励等） ③新体力テストの実施と指導の工夫改善 ○発達段階に応じた計画的な健康教育の実施 ①基本的生活習慣の確立 ②健康・安全に対する自己管理能力の育成 ③食に関する指導の充実	【重点】 ◎自ら学ぶ力の育成 ○基礎的・基本的な学習内容の確実な定着 ①言語活動の充実による言語能力の育成 ②ねらいを明確にしたわかる授業の創造 ③学習規律の徹底 ④家庭学習習慣の定着と質の向上 ○学ぶ意欲の向上 ①問題解決的・体験的な学習の充実 ②総合的な学習の時間の充実（ESDの推進） ○校内研修の充実 ①授業研究を中心とした組織的・計画的な研修の充実 ②外部講師を招請した授業研究の充実 ③研修会・研究会への参加と普及還元による職能向上 ④新学習指導要領の円滑な実施にむけての取組	【重点】 ◎自らかかわる力の育成 ○道徳教育の充実 ①全教育活動による道徳性の育成 ②道徳実践を促す道徳科の多様な指導方法の確立と評価の改善・工夫 ③道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実 ④道徳科授業の公開と家庭・地域との連携 ○豊かで温かい人間関係の醸成 ①子供の居場所と絆づくりを推進する学級経営の充実 ②言語環境の整備（「挨拶・笑顔・言葉遣い」の意識化） ③生徒指導の充実 ④異年齢集団活動の充実 ○心を耕す読書活動の推進 ①読書指導の充実と読書習慣形成の推進 ②家庭・関係機関との連携による読書環境の整備

平成30年度 知床未来中学校 企画編



今年度の重点

1. 基礎基本を確実に身につけさせる学習指導の展開
2. 望ましい人間関係の醸成
3. 特別支援教育の充実

学習面では

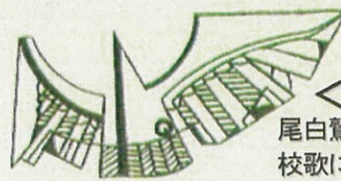


- ①授業に意欲的に取り組めるよう「分かる・できる」を実感する授業を目指す
- ②学習規律を守り、高め合うクラスづくり
- ③人の前で自分の意見や考えをしっかりと発表できる生徒の育成
- ④適切な評価を行い、褒めることで生徒の意欲を引き出す
- ⑤基礎基本の定着に向けた家庭学習を奨励

- ①「早寝・早起き・朝ご飯運動+家庭学習」を意識した基本的な生活習慣の育成
- ②良好な対人関係の維持、基本的モラルや社会生活上のルール、マナーを尊重する態度の育成
- ③生徒の意欲と創意、自主性や主体性を生かした体験的活動の推進
- ④生徒一人一人の深い理解と信頼関係に立脚した生徒指導の推進
- ⑤健康・体力作りを意識した生活習慣の育成
- ⑥感謝「ありがとう」と言える風土の醸成
- ⑦スイッチオフ22（22時にメディア機器の電源を切る）

生活面では





<校章>
尾白鷺が天空を飛翔する姿に、
校歌に 託された『からだつよ
く、こころさえざえ』の理念を示す

校 訓
「知床の自然のごとく厳しく美しく
羅臼岳のごとく悠然と」

重点目標

進路実現を目標に、主体的、意欲的に学習に取り組み生徒の育成に努める
自らを律し、責任ある行動の涵養を図ると共に奉仕の心の育成に努める
充実した体育・文化活動を通じ、心身共に健康な生徒の育成に努める
地域の自然・産業を積極的に学び、郷土に貢献できる生徒の育成に努める
教職員の個別の状況把握と業務改善、及び健康管理に努める

羅臼高校のコース制

文理コース

大学・短大等の進学希望者を対象としたコースです。
一般入試に対応できる学力を養成します。
講習（放課後・長期休業中）も充実

実務コース

就職希望者を対象としたコースです。
卒業後は即戦力となる人材養成のため商業科目が充実しています

知 床 学

地域を学び、地域を知って、地域に還元

地域と連携してさまざまな羅臼高校独自の授業を展開しています。

- 知床概論 野外観察
- 野外活動 海洋生物
- 環境保護
- 創作料理プロジェクト
- 地域イベントへの参加

など

幼少中高一貫教育

スムーズな接続

幼稚園から高校までの連携でさまざまな合同事業を展開しています。

- 豊漁の舞演舞
- 町内ボランティア活動
- 合同講演会 合同演奏会
- 部活動交流 生徒会交流
- 芸術鑑賞
- ユネスコスクール研究発表

など

目指す生徒像

【自信と意欲を持つ生徒】

- 自ら学ぶ意欲を持って、社会の変化に主体的に対応する生徒
- 奉仕の心を持って、たくましく行動する生徒
- 基本的な生活習慣を身に付け、社会規範を守る生徒
- 強固な意志と実行力を持って、心身を練磨する生徒

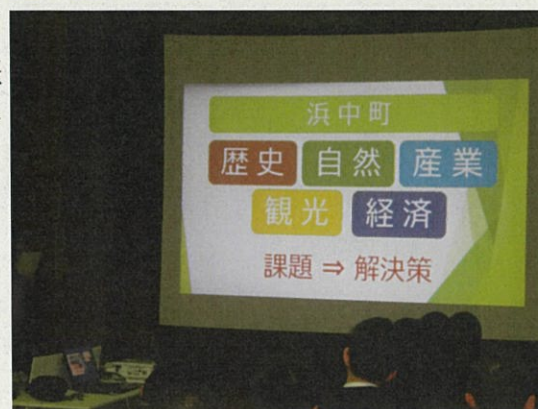


羅臼高校と霧多布高校との交流

6月13日（水）に羅臼高校で浜中町の霧多布高校都の交流会が行われました。霧多布高校の3年生28人と羅臼高校の3年生34名がそれぞれの学校で学習している「知床学」と「浜中学（はまなかがく）」について発表を行いました。

羅臼高校の生徒は、自然環境科目群、クマ学習、水産教室、フードデザイン、生徒会活動について発表しました。霧多布高校は、浜中町の歴史、自然、産業、観光、経済について課題を洗い出し自分たちで考えられる課題に対する解決策を発表していました。発表後は、それぞれの学習に対する感想や質問など意見交流をして終了しました。

霧多布高校から、3時間あまりかけここ羅臼に来てお互いの交流ができたことは、生徒達にとっても良い機会になったのではないかと思います。



公民館図書室 利用の仕方お勉強しました

公民館図書室の利用の仕方を勉強しに小学生が来ています。図書室に来るとまず、司書さんのお仕事の内容や本の借り方など説明を聞きます。その後、図書室の本の並び方や借りるときの約束などの話を聞いた後実際に本を借ります。



春松小2年生（本を選んでいきます）



羅臼小2年生（菊池司書さんに質問）